

**授業概要**

地理学は地域の人文・社会・自然現象を総合的に把握し、その性格や特色を明らかにし、地域の成り立ちや空間的分布、地域構造を考察していくことを目的としている。自然地理学においては、自然現象のうちと人間生活に関わりの深い諸事象について、その地域的分布や相互関係、人間生活とのかかわりを考察していく。

授業ではまず自然環境と環境論について考察する。そのあとは地図帳を使用し、地球の大きさと表し方、世界の大陸と海洋、世界の気候区分、日本の自然環境など人間生活との関わりに視点を置いて講義を行う。地域を見る、地域を知るということを念頭に置き、授業を進めていきたい。

**授業計画**

第1回	授業ガイダンス
第2回	自然環境と環境論
第3回	地球の大きさとその形（緯度・経度と時差）
第4回	地球の表し方（図法・投影法）
第5回	世界の大陸と海洋
第6回	大陸の移動と起源
第7回	世界の地形
第8回	確認テスト、気候のしくみ
第9回	気候・気象・天気・天候
第10回	ケッペンの気候区分
第11回	世界の気候（熱帯と乾燥帯）
第12回	世界の気候（温帯と冷帯）
第13回	日本の気候区分
第14回	日本の自然環境の特色
第15回	まとめ
第16回	期末試験

**到達目標**

「自然地理学」は中学校社会科および高等学校地理歴史科の教職免許の取得のための必修科目にもなっている。そのため、教職に就いた場合に必要とされる知識や教養を身に付けることも授業の目的の一つとする。また高等学校で「地理」を履修しなかった学生にも理解できるように、地理学の基礎的な事項についても触れる予定である。

**履修上の注意**

授業は講義を中心となるが、作業も行う。10cm程度の定規が必要となるので用意しておくこと。当然ながら、授業中の私語や私事は禁止である。

**予習復習**

聞いたことの無い地名があった場合には、地図帳で確認すること。

**評価方法**

試験、出席状況、授業中に行う課題、履修態度により、総合的に評価する。

**テキスト**

二宮書店編「現代地図帳 2015-2016」。人文地理学・地誌学と同じものを使用する。その他にプリントを配布する。参考文献は授業中に示していく。